

(様式4)

平成27年度 日立市教育研究会先進校等調査派遣研修報告書

日立市立大沼小学校 教諭 小野寺 暁久

- 1 派遣期日 平成27年10月31日(土)
- 2 研修先 学校名(会場名) 新宿区立愛日小学校
所在地〒162-0805 東京都新宿区矢来町6
<http://www.shinjuku.ed.jp/es-aijitsu/>

3 研修内容

全国小学校国語研究所 第7回 研究発表会

研究主題「活用力を高める読解指導法の研究」

－言語活動の適切な選択と読解技能の定着・活用－

(1) 研究発表

①研究主題設定の理由及び研究内容の概要

○活用力とは

- ・課題解決に必要な思考力、判断力、表現力などの能力
- ・課題解決のために適切な情報を検索し、活用する能力
- ・日常生活の中で知識・技能を活用する能力

○「読解技能の定着」と「言語活動」との関連

読解技能と言語活動は、学習指導要領で内容に位置づけられているが、言語活動は手段的性格を持っている。つまり言語活動を通して、読解技能の習得と活用を図るという関係にある。言い換えれば、授業計画を立てる際、言語活動より導き出される学習課題の解決に必要な読解技能を取り上げ、課題解決に取り組む中で、必然的に読解技能の定着と活用が図られるような授業づくりが求められる。そこで、言語活動選択の要件として、次の3点を考えている。

- ・日常生活と密接に関係する言語活動
- ・児童が、興味や意欲を持って取り組める言語活動
- ・課題解決に必要な読解技能を習得し、活用する力を身に付けることができる言語活動

②活用力を高める授業づくりの実際

○物語文の授業づくり(低学年)

指導の工夫

- ・一次 学習課題や方法を知り、学習の見通しをもたせる工夫
- ・二次 目的をもって教材文を読ませ、単元で付けたい力を意識した工夫
- ・三次 並行読書で好きなところを紹介・交流させる工夫

○説明文の授業づくり(高学年)

説明文読解の活用力を高める指導過程

- ・基礎学習 言語事項・単一技能の完全習得を目指す指導
- ・基本学習 教科書教材を主教材に、知識・技能を習得・活用する力を高める指導
- ・探究学習 知識・情報を収集・整理し、自分の考えを発信する力を高める指導

(2) 模擬授業(参加者を対象にした交流学习。下記の二つから一つ選んで参加。)

①第1学年 物語文「だって だっての おばあさん」

②第6学年 説明文「自然に学ぶ暮らし」

(3) 記念講演 課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを実現する国語科授業づくり

文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

①学びをより主体的・協働的にするための視点

- ・国語科の本質的なねらいに迫る学び
- ・課題解決的な学びと言語活動の充実
- ・子供自身にとって追求する価値のある課題に向かう深い学び
- ・子供自身にとって目的性や必然性のある他者との対話的な学び
- ・外界との相互作用を通じた対話的な学び
- ・学習の見通しを立てたり振り返ったりする主体的な学び
- ・学びに向かうエネルギーの重視

②国語科における言語活動の充実のポイント

- ・本単元で付けたい力を見極める
- ・付けたい力にぴったりの言語活動を選定
- ・言語活動を単元全体を通して一貫したものとして位置付ける
- ・子供の「大好き!」「心に響く!」を重視

③国語科の学習評価の改善

- ・言語活動を通し、指導と評価を繰り返すことによる確かな評価を

4 感想

この研修では、主体的・協働的な学びを実現する国語科の授業づくりの重要性や言語活動の適切な選択の必要性を学ぶことができた。今後は、子供たち一人一人が国語科の授業を楽しみにし、主体的・協働的に学んでいくことができるよう、指導計画を練り、言語活動の適切な設定を行い、実践を深めていきたい。

また、今後の国語科教育の方向性や国の動向を知ることができた。それに基づき、さらに研修を深めていくことで、指導力を磨き、現場で子供たちに還元していきたいと改めて感じた。